

被災状況
<p><b>死者 7,913 人、負傷者 17,871 人。</b>カトマンズ盆地の避難者合計 41,887 人。                      家屋被害：全壊 299,688 戸 半壊 269,109 戸 <span style="float: right;">(5/9 ネパール政府)</span></p>
被災された方々の健康状態／支援ニーズ
<p><b>外傷</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カトマンズ盆地の病院では外来患者や外傷患者数は減少している。</li> <li>・リハビリテーション施設の設立、外科手術後の退院患者への支援が必要である。</li> <li>・7日に保健人口省は患者にリハビリテーションサービスを提供するために、Kirtipur に臨時の医療リハビリテーションセンターを開設することを決定した。</li> <li>・リハビリテーションチームが必要である。</li> </ul> <p><b>感染症</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地区の病院より下痢症が何例か報告されている。しかし、現在までの調査した便検体からはコレラ菌、赤痢菌、サルモネラ菌は検出されなかった。調査は継続中である。</li> <li>・山岳部の村では、特に5歳未満の子どもに呼吸器感染症の増加が報告されている。</li> <li>・WHO と国内結核センターでは、結核の今後のケアについて検討されており、結核診断と治療施設の早期アセスメントが実施される予定である。</li> </ul> <p><b>メンタルヘルス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地で、心理的トラウマの症例が報告されているため、メンタルヘルスや社会心理的支援が必要である。</li> </ul> <p><b>女性と子どもの健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20万人の子供、妊婦、授乳中の母親に包括的な栄養補給プログラムが必要である。(5/1～)</li> <li>・栄養評価のために測定用具（身長・体重計、上腕周囲径用メジャー）が配布されたが、コミュニティレベルではスタッフが不足している。</li> </ul>
被災された方々の生活状況
<p><b>救援物資の配布</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空港での混雑の緩和と、道路アクセス向上のため、防水シート配布の割合が増加しているが、防水シートの配布は遠隔地への輸送とともに未だに優先課題である。</li> </ul> <p><b>食生活と水・衛生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推定 350 万人以上に食糧支援が必要。特に 140 万人が優先的に支援を必要としている。(4/30～)</li> <li>・今後 3 週間で、種もみが農家に配布される必要がある。</li> <li>・12 地区の 113 マーケットのアセスメントの結果、4%のマーケットが店の被害や倒壊、食糧の不足、店主や商人の被災や移動のために機能していないと報告された。5月1日の状況からはかなり改善している。57%が部分的に、そして 39%の店は食糧備蓄があり機能している。しかし、機能している店でも、値段が上昇しており、日用品は揃っていない。</li> <li>・特に遠隔地で、衛生設備の不足による水汚染の可能性が懸念されている。</li> <li>・被災地域での衛生対応は非常に弱い。</li> </ul> <p><b>キャンプ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震による地形の変化、モンスーンの季節の到来、支援や物資のより高い稼働性のために Gorkha</li> </ul>

地区に周辺地域の被災者たちが移動し、キャンプが展開されている。

- ・避難サイトの適切な管理と生活状況改善の必要があるが、訓練されたパートナーが不足している。

#### セキュリティ

- ・地元の保護クラスタパートナーより救援物資の不正使用や不適当な分配についての報告がある。
- ・キャンプでの性暴力事件が報告された。(5/5)
- ・女性グループと性差に基づいた暴力(Gender-based violence: GBV)警戒グループは、12地域のGBVケースへの警戒と対応のために動員された。
- ・保護クラスタのもとに、高齢者と障がい者のためのサブワーキンググループが2つ作られた。
- ・約200人のチベット難民がカトマンズ盆地で被災したために保護が必要である。

#### 教育

- ・教育省によると、14,541の教室が全壊し、9,182の教室が被害を受けた。(5/6)
- ・950,000の児童が学校に戻るためには、被災した学校を評価し全壊した学校への支援が必要である。
- ・政府は学校を再開するにあたり、教員組合と教育クラスタパートナーに学生と教員の双方に対する心理社会的支援の必要性を促した。
- ・教育と保護クラスタはDhading, Kathmandu, Lalitpur, Bhaktapurの避難コミュニティ(displaced community)に38のGFS(子どものためのケア場所: ゲーム、スポーツ、心理社会的サポートなどを提供)を確立し、3,800人以上の子供たちに貢献している。

#### 復興

- ・政府の社会動員592人は、救助や復旧をサポートするために配備された。
- ・早期復旧活動を可能にするため、機能していない村落開発委員会への緊急サポートが必要である。

#### 保健・医療機関の状況

- ・7日までに53,203人がカトマンズ盆地や郊外の病院で治療され、8,260人が入院中である。
- ・合計269の保健施設が全壊しており、527の保健施設が被害を受けた。(5/8)

#### 医療支援の状況

- ・100以上の海外医療チームが活動している。長期的な支援を検討しているチームもある。
- ・保健人口省からの追加の海外医療チームの要望は出ていない。(5/7)
- ・被害を受けた保健施設の機能を補うために、医療用テントや医療物資が必要である。
- ・16地区(Bhaktapur, Chitawan, Dhading, Dolakha, Gorkha, Kavrepalanchowk, Kathmandu, Lalitpur, Lamjung, Makawanpur, Nuwakot, Ramechhap, Rasuwa, Sindhuli, Sindhupalchowk, Tanahu)に合計33のWASHクラスタパートナーが活動しているが、不足している。
- ・地区レベルのコーディネートのためのWASHガイドラインが策定された。
- ・5つの緊急水部門がSindhupalchowkに導入され、病院とコミュニティに水を提供している。

#### ロジスティック

- ・すでにあるカトマンズのロジスティックハブに追加して5つのハブが作られた。
- ・インターネット接続の設置と管理のためにサテライトターミナルとキットがカトマンズに届いた。
- ・77の異なる人道支援機関からの221以上の対応者が、提供されたインターネットを使用している。
- ・4月3日から5月5日の間に、ロジスティッククラスタはトラック30台分の救助物資を運搬した。
- ・地方への物資の搬送は引き続き課題のままである。

**【引用文献】**

**ネパール政府**

Update of Ministry of Home Affairs as of 22:00 on 9 May 2015.

<http://eq.nitc.gov.np/>

**International Organization for Migration (IOM)**

Open Spaces and IDP Sites Assessed by DTM in Kathmandu Valley (as of 09 May 2015)

<http://reliefweb.int/map/nepal/open-spaces-and-idp-sites-assessed-dtm-kathmandu-valley-09-may-2015>

**UNOCHA**

United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs and Office of the Resident and Humanitarian Coordinator in Nepal. Nepal :Earthquake 2015 Situation Report No.11 (06May)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no-11-6-may-2015>

United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs and Office of the Resident and Humanitarian Coordinator in Nepal. Nepal :Earthquake 2015 Situation Report No.12 (08May)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no-12-8-may-2015>

**World Food Programme**

Nepal - Earthquake: Release 3, 8 May 2015

<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp274476.pdf>

**World Health Organization SEARO**

WHO Nepal Earthquake Health Update - Situation Report No. 11: 6 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep11-6-may-2015.pdf?ua=1>

WHO Nepal Earthquake Health Update - Situation Report No. 12: 7 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep12-7-may-2015.pdf?ua=1>

WHO Nepal Earthquake Health Update - Situation Report No. 13: 8 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep13-8-may2015.pdf?ua=1>

**UNICEF**

UNICEF Nepal Humanitarian Situation Report 7, 06 May 2015

<http://reliefweb.int/report/nepal/unicef-nepal-humanitarian-situation-report-7-6-may-2015>

UNICEF Nepal Humanitarian Situation Report 8, 08 May 2015

<http://reliefweb.int/report/nepal/unicef-nepal-humanitarian-situation-report-8-8-may-2015>